

農林業センサスからみた

農家のすがた

昨年二月一日現在で調査しました、一九七〇年世界農林業センサスの結果が農林省から発表されました。

この調査によってえがき出された、町の農家のすがたをお知らせいたします。

農家数は一、五一一戸

まず、農家の総数からお知らせいたします。

農林業センサスで調査された町の農家数は、一、五一一世帯です。町の世帯は、二、四五一世帯です。ので世帯総数に対する割合は、

約六十二%です。

農家人口は、男三、七〇五人、女三、九二一人で合計七、六二六人で、町の人口の約六十九%を占めています。

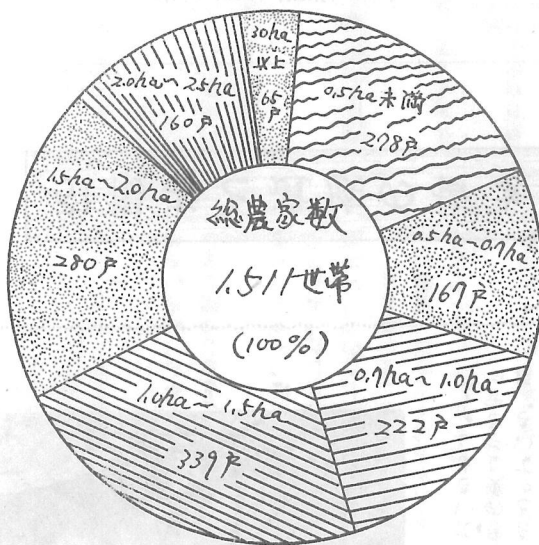
経営耕地面積は

平均一・二ヘクタール

つぎに農家を耕地面積によって分類し、それをグラフにしてみました。

耕地面積が、一ヘクタールから一・五ヘクタールの農家が一番多く、全体の二十二パーセントを占めています。

<耕作面積別の農家数>



農作物収穫面積ベスト10

	作物	収穫面積	農家数	一戸平均
1	水稲	118,608 ^a	1,479 ^戸	80.2 ^a
2	小麦	14,427	678	21.3
3	ばれいしょ	5,606	738	7.6
4	陸稲	5,047	328	15.4
5	ビール麦	4,790	221	21.7
6	かんしょ	3,640	419	8.7
7	大麦、はだか麦	3,248	200	16.2
8	たばこ	2,456	46	53.4
9	ねぎ	1,850	1,175	1.6
10	にんじん	1,076	755	1.4

八割が兼業農家

農家を専業農家と兼業農家に分けると、専業農家は二六一世帯で全体の十七パーセントです。町の農家のうち、約八割にあたる一、二五〇世帯の農家が、農業以外の仕事をもっていることになっています。

兼業農家一、二五〇世帯のうち、六七三世帯は農業を主にしていますが、残りの五七七世帯は、他の仕事を主にしています。農作物の収穫面積で一番多いのは水稲で、次いで小麦、ばれいしょの順となっています。

農作物収穫面積のベストテンは右の表のとおりです。

一ヘクタールが四十四パーセントで農家の約半分を占めており、三ヘクタール以上は、わずかに四パーセントにすぎません。

千葉県生活者大会

に参加して

婦人会長 平山 多美

一月二十六日、千葉県連合婦人会主催により、千葉市の文化会館で第十五回生活者大会が開催されました。

友納県知事始め、多くの関係機関の先生方や各都市の婦人会代表が出席し、町からも七名の役員が参加しました。

科学技術の進歩を中核にして生産の飛躍的な拡大に伴って、私たちのくらし方は、どこまでどう変わっていくものか想像もつきません。

私達は、そうした社会環境の中で個人の生活家庭と地域など、複雑きわまらない環境をみつめながら

ら困っていることと不安でならないこと、解決せずにはおられないことを持ちより、その願いを結集して社会に訴えて協力と支援を求め住民の幸せな生活が出来ることを目的として行なわれました。

社会の変動とそれに伴う生活阻害の諸事態に対し、その中で最も緊急で重大な課題を三點とりあげ、国県の行政機関に訴えました。

(一) 農業開発に関する問題

(二) 公害に関する問題

(三) 消費(とくに物価)に関する問題

の三點をとらえ、郡市の代表が研究発表し解決のための運動を押し進めました。

千葉県は、全国でも首位を争うような農業県であります。農業は、食べ物の生産の力です。この分野にたずさわる人達は、不安でいっぱいです。本気になって農業をやろうとしている主婦や青年達が、将来への見通しもなく絶望的な不安におびえているのが現状です。

主婦も青年も行政も農協も一語になつて話し合い、それを土台に農業の方向を知り、今こそ一致団結して開発して行かねばなりません。

特に後継者のお嫁さんの少ないことがとりあげられました。農村では、生家に負担をかけることが多いことが問題のようです。これらの問題は、個人の力では解決できません。

隣接市町村でお互いに話し合っ

て、協力し守りたいものです。公害の問題については、京葉臨海工業地帯における工業の生産活動に伴って、発生する大気汚染の現況を目のあたりに訴えられ驚き